

# サイト ライセンス 管理者ガイド

次の説明は、IBM® SPSS® Amos™ 20 にサイト ライセンスを使用しているサイトの管理者向けです。このライセンスでは、購入したライセンスの数までに制限された、複数のコンピュータに IBM SPSS Amos をインストールできます。

## 始める前に

認証コードが必要になります。別紙に記載されている場合、または <http://www.ibm.com/software/getspss> から入手できる場合があります。この認証コードを使用して、IBM® SPSS® Amos™ のライセンスを取得できます。認証コードが見つからない場合は、営業担当者に連絡してください。

## ゴースト化

ソフトウェアのゴースト化（イメージの複製）を行う場合は、ライセンスとの適合を容易にするために次の方法をお勧めします。

- ネットワーク ライセンスに移行する。

または

- サイト ライセンスを使用するが、ゴースト化（複製）イメージのソフトウェアにはライセンスを許可しない。エンドユーザーの各コンピュータ上でソフトウェアにライセンスを許可します。

ソフトウェアのゴースト化を選択した場合、上記 2 つの推奨方法のいずれかを使用しないときは、ライセンスとの適合を維持していくことが非常に難しくなります。ご質問がある場合は、ライセンスとの適合を維持する方法について IBM Corp. にご相談ください。

## Citrix とターミナル サービス

Citrix とターミナル サービスで IBM® SPSS® Amos™ を使用するにはネットワーク ライセンスが必要です。ライセンスの移行方法については IBM Corp. までお問い合わせください。

## ローカル デスクトップ コンピュータへの製品のインストール

エンド ユーザーのコンピュータ（ローカル）に製品を完全にインストールするには、2 つの方法があります。各コンピュータに手動でインストールするか、Systems Management Server (SMS) のようなアプリケーションを使用して Windows が稼動しているコンピュータにインストールをプッシュできます。

### ローカルのデスクトップに手動でインストールするには

- ▶ **インストール メディアを利用可能にする**：製品の eImage をダウンロードし、共有ネットワーク ドライブにファイルを解凍します。物理インストール メディアがある場合、DVD/CD のコピーを必要な部数作成するか、共有ネットワーク ドライブに置きます。
- ▶ **インストール手順書をコピーし、ライセンスに関する情報を準備する**。製品のインストール手順書のコピーを必要な部数作成します。インストール方法はダウンロードサイトから入手できます。またはインストール メディアがある場合、DVD/CD の /Documentation/<language>/InstallationDocuments ディレクトリにあります。ライセンスの種類に対応する指示に従います。完全バージョンまたは省略バージョンの指示を配布できます。インストール後に、エンドユーザーは指示書をコピーする前に、指示書の初めにある空欄にこの情報を記入しておきます。

注：プロキシ サーバーによって認証が拒否される場合は、licenseactivator を使用してください。このコマンドを使用すると、プロキシ ID とパスワードを入力できます。詳細は、[p. 6 licenseactivator の使用](#) を参照してください。

- ▶ **インストールに必要なものをエンド ユーザーに配布する**：インストール DVD/CD（またはダウンロード済みファイルまたはネットワーク上での CD-ROM の場所）、インストール手順書、およびライセンス情報を、各コンピュータに手動でインストールできるエンドユーザーに必要なに応じて配布します。

### Windows が稼動しているローカルのデスクトップにプッシュするには

IBM® SPSS® Amos™ のインストールは Microsoft Windows インストーラ (MSI) と互換性があるため、エンド ユーザーのコンピュータにインストールをプッシュできます。

## Windows が稼動しているコンピュータへのインストールのプッシュ

インストールのプッシュは、ユーザーの介入なしにソフトウェアをあらゆる人数のエンド ユーザーに配布する手法です。IBM® SPSS® Amos™ の完全インストールをエンド ユーザーの Windows が稼動するデスクトップ コンピュータにプッシュできます。インストールのプッシュに使用するテクノロジーでは、MSI エンジン 3.0 以上がサポートされている必要があります。

### 以前のバージョンのアンインストール

以前のバージョンの IBM® SPSS® Amos™ のインストール先と同じディレクトリにプッシュする場合は、古いバージョンをアンインストールする必要があります。インストールをプッシュすると同様にアンインストールをプッシュできます。詳細は、[p. 5 アンインストールのプッシュ](#) を参照してください。

### プッシュ インストールのプロパティ

プッシュ インストールに使用できるプロパティには、次のようなものがあります。すべてのプロパティは大文字小文字を区別します。値に空白文字が含まれている場合は、その値を引用符で囲む必要があります。

テーブル 1-1  
プッシュ インストールのプロパティ

プロパティ	説明	有効値
INSTALLDIR	IBM® SPSS® Amos™ のインストール先となるエンド ユーザーのデスクトップ コンピュータ上のディレクトリ。このプロパティは省略可能です。指定がない場合、デフォルト値はC:\Program Files\IBM\SPSS\AMOS\19 になります。	C:\Amos などの有効なパス。
AUTHCODE	認証コードを入力します。このプロパティが指定された場合、製品は認証コードを使用して自動的に認証されます。このプロパティが指定されない場合、それぞれのエンドユーザーは手動で認証を行うためにライセンス認証ウィザードを実行する必要があります。	1 つ以上の有効な認証コード。複数の認証コードは、コロンで区切ります (例: authcode1:authcode2)。
PROXY_USERID	プロキシのユーザー ID。 <b>AUTHCODE</b> パラメータを指定し、かつインターネットに接続するためにユーザー ID とパスワードを要求するプロキシをサイトで使用している場合は、このパラメータが必要です。このパラメータが機能するのは、コントロールパネルの [インターネット オプション] の [ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定] で、特定のプロキシ サーバーのアドレスおよびポートが指定されている場合に限りです。	有効なプロキシ ユーザー ID。
PROXY_PASSWORD	プロキシ ユーザーのパスワード。詳細は、 <b>PROXY_USERID</b> の説明を参照してください。	プロキシ ユーザー ID に関連付けられたパスワード。
COMPANYNAME	会社の名前。	任意の文字列。

## MSI ファイル

Amos 19.0.msi ファイルは Windows\Amos ディレクトリにあります (DVD/CD)。ソフトウェアをダウンロードした場合、MSI ファイルを使用するには、eImage のコンテンツを抽出する必要があります。

## コマンド ラインの例

製品のインストールのプッシュに使用できるコマンド ラインの例を次に示します。すべてのテキストを 1 行に入力します。

```
MsiExec.exe /i "Amos 19.0.msi" /qn /L*v logfile.txt  
INSTALLDIR="C:\Amos" AUTHCODE="3241a2314b23c4d5f6ea"
```

## SMS を使用したインストールのプッシュ

Systems Management Servers (SMS) を使用して IBM® SPSS® Amos™ をプッシュする際の基本手順は次のとおりです。

- ▶ DVD/CD の Windows¥Amos ディレクトリの該当するディレクトリをネットワーク コンピュータ上のディレクトリにコピーします。 ソフトウェアをダウンロードした場合、eImage の内容を展開する必要があります。
- ▶ コピー先のディレクトリにある Amos 19.0.sms ファイルを編集します。テキスト エディタを使用して、CommandLine の値を適切なプロパティを追加することで編集します。利用可能なプロパティのリストは、「プッシュ インストールのプロパティ」（ p. 2 ）を参照してください。コマンド ラインで適切な MSI ファイルを指定してください。
- ▶ Amos 19.0.sms ファイルからパッケージを作成し、そのパッケージをエンド ユーザーのデスクトップ コンピュータに配布します。

## グループ ポリシーまたは関連するテクノロジーを使用したインストールのプッシュ

グループ ポリシーまたは関連するテクノロジーを使用して IBM® SPSS® Amos™ をプッシュする際の基本手順は次のとおりです。

- ▶ DVD/CD の Windows¥Amos ディレクトリの該当するディレクトリをネットワーク コンピュータ上のディレクトリにコピーします。 ソフトウェアをダウンロードした場合、eImage の内容を展開する必要があります。
- ▶ ORCA などのアプリケーションを使用して、コピーされたフォルダの下の適切な Amos 19.0.msi ファイルのプロパティ テーブルを編集します。ORCA は、Windows 2003 Server SDK に含まれています (<http://www.microsoft.com/downloads> へ移動し、「SDK」で検索してください)。プロパティ テーブルに追加できるプロパティのリストは、「プッシュ インストールのプロパティ」（ p. 2 ）を参照してください。適切な MSI ファイルを使用してください。
- ▶ 編集した Amos 19.0.msi ファイルを使用してパッケージを作成し、そのパッケージをエンド ユーザーのデスクトップ コンピュータに配布します。

## 英語以外のシステムにインストールをプッシュする

追加の指定をせずに英語以外のシステムにプッシュできます。ただし、インストーラの言語（インタラクティブ インストールをプッシュする場合）が英語で表示される場合、インターフェイスは英語で表示され、またヘルプも英語で表示されます。ユーザーはインストール後にユーザー インターフェイスの言語を変更できますが、ローカライズされたヘルプは使用できません。

TRANSFORMS プロパティを使用して、DVD/CD で使用できる MST ファイルのいずれかを指定できます。MST ファイルを使用して、インストーラ、ユーザー インターフェイス、およびヘルプを指定の言語で表示できます。IBM® SPSS® Amos™ をダウンロードした場合、MST ファイルは使用できません。ユーザーは、ローカライズされたヘルプの言語パックを手動でインストールし、製品のユーザー インターフェイス言語を手動で変更する必要があります。

TRANSFORMS プロパティは、MsiExec.exe のパラメータです。次の例では、TRANSFORMS プロパティを使用して、フランス語のインストールをプッシュします。インストーラがフランス語で、またユーザー インターフェイスもフランス語で表示され、フランス語のヘルプがインストールされます。(ヘルプ言語を HELPCHOICE プロパティで上書きすることもできます。詳細は、[p. 2 プッシュ インストールのプロパティ](#) を参照してください。) すべてのテキストを 1 行に入力します。

```
MsiExec.exe /i "Amos 19.0.msi" /qn /L*v logfile.txt
INSTALLDIR="C:\Amos" LICENSETYPE="Network" LSHOST="mylicserver" TRANSFORMS=1036.mst
```

次の言語の MST は DVD/CD の Windows¥Amos ディレクトリにあります。eImage をダウンロードした場合、これらのファイルは展開した eImage ファイルの root に保存されます。

テーブル 1-2  
言語の MST ファイル

言語	MST ファイル
英語	1033.mst
日本語	1041.mst

## アンインストールのプッシュ

注：アンインストール コマンドをプッシュすると、エンド ユーザーがカスタマイズした設定は失われます。特定のユーザーがカスタマイズした設定を必要とする場合は、それらのユーザーを配布から除外して、製品を手動でインストールするよう指示できます。

新しいバージョンの IBM® SPSS® Amos™ のインストールをプッシュする場合、アンインストールを行う必要がある場合があります。このアンインストールは、次のコマンドをプッシュすることで自動的に行えます。すべてのテキストを 1 行に入力します。

```
MsiExec.exe /X{B132EFD2-BF03-48AA-8EC8-404E4C5199C5} /qn /L*v logfile.txt
ALLUSERS=1 REMOVE="ALL"
```

このコマンドは、IBM SPSS Amos 20 をアンインストールします。次の表には、本リリースおよび以前のリリースのアンインストール ID を示します。

テーブル 1-3  
IBM SPSS Amos のアンインストール ID

バージョン	アンインストール ID
20.*	{58C50F5A-B7E2-4149-8911-B14CEC825F57}
19.*	{B132EFD2-BF03-48AA-8EC8-404E4C5199C5}
18.*	{65D9DA69-4C22-46CA-B762-A338CAC94599}

バージョン	アンインストール ID
17.*	{9DB2E18E-2A1F-4D65-A258-9CB446903C3E}
16.*	{4DA782CB-C9A0-462F-9D18-17D301BC507C}

## licenseactivator の使用

licenseactivator を使用すると、ライセンス認証ウィザードを使わなくても、エンドユーザーのコンピュータを認証することができます。このコマンドライン ツールは、IBM® SPSS® Amos™ をインストールしたディレクトリにあります。

licenseactivator を使用すると、製品ライセンスが有効になり、ディレクトリにログ ファイルが書き込まれます。ログ ファイル名は、licenseactivator\_<month>\_<day>\_<year>.log です。エラーが発生した場合は、ログ ファイルで詳細を確認できます。この情報は、IBM Corp. に問い合わせをする際にも役立ちます。

### 認証コードを使った licenseactivator の使用方法。

licenseactivator は、通常、購入した製品に付属している 1 つ以上の認証コードとともに使用します。すべてのテキストを 1 行に入力します。

```
licenseactivator authcode1[:authcode2:...:authcodeN] [PROXYHOST=proxy-hostname]
[PROXYPORT=proxy-port-number] [PROXYUSER=proxy-userid] [PROXYPASS=proxy-password]
```

- 認証コードが複数ある場合はコロン (:) で区切ります。
- プロキシ設定は任意ですが、コンピュータがプロキシを設定している場合は設定が必要な場合があります。OS によって、必要なプロキシ設定が異なります。

**Windows:** プロキシ設定が機能するのは、コントロール パネルの [インターネット オプション] にある [ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定] で、特定の プロキシ サーバーのアドレスおよびポートが指定されている場合に限りです。コマンド ラインにプロキシ ホストおよびポートを入力しないでください。ただし、PROXYUSER および PROXYPASS に値を入力する必要があります。

**その他のオペレーティング システム:** その他のオペレーティング システムの場合、特定の プロキシ設定に応じて、コマンド ラインのすべてのプロキシ設定の入力が必要な場合があります。

### ライセンスコードを使った licenseactivator の使用方法。

あまり一般的ではありませんが、IBM Corp. からすでに「ライセンス」を受けている場合もあります。

```
licenseactivator licensecode[:licensecode2:...:licensecodeN]
```

- ライセンス コードが複数ある場合はコロン (:) で区切ります。
- ライセンス コードを使用する場合、licenseactivator はインターネットに接続しないため、プロキシ情報を指定する必要はありません。

## ライセンス ファイル

製品にライセンスを許可すると、製品のインストール ディレクトリに lservrc という名前のファイルが作成されます。このファイルのコピーをエンドユーザーの各コンピュータに対して保持しておくことができます。ライセンス ファイルは、それを作成したコンピュータ上でのみ機能しますが、そのコピーがあると製品のアンインストールまたは再インストールが必要になったときに役立ちます。再インストールの後で、lservrc ファイルを製品のインストール ディレクトリにコピーし直すことができます。これにより、製品のライセンスをあらためて取得する作業が省けます。

## サービスとサポート

Micro Software のライセンス契約書に記載されているように、お客さまのサイトで、サイト ライセンス バージョンの SPSS Inc. の製品ごとに連絡先となる技術担当者を指定します。技術担当者は、組織のユーザーに製品およびオプションについて支援することが期待されます。IBM Corp. は、技術担当者の名前を記録し、IBM Corp. テクニカル サポートを介して技術的な支援を提供します。エンドユーザーには、ソフトウェアに関する質問は指定した技術担当者に直接問い合わせるように通知してください。

IBM Corp. テクニカル サポートに連絡するには、<http://www.ibm.com/support> にアクセスしてケースを送信してください。IBM Corp. テクニカル サポートに登録していない場合は、登録が必要です。

IBM Corp. では、IBM Corp. 製品のトレーニング セミナーを定期的を開催しています。オンサイトでのトレーニング受講も可能です。トレーニング セミナーの詳細は、<http://www.ibm.com/training/spss> を参照してください。